



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2022年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社

コード番号 6463 URL <https://www.tpr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 矢野 和美

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小島 亮治 TEL 03-5293-2811

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	39,423	△2.2	874	△75.3	2,007	△53.8	592	△71.2
2022年3月期第1四半期	40,292	35.7	3,539	-	4,342	660.1	2,057	650.8

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 6,285百万円 (△18.7%) 2022年3月期第1四半期 7,731百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	17.19	-
2022年3月期第1四半期	59.68	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	261,235	163,506	50.5	3,843.28
2022年3月期	255,403	159,752	50.4	3,734.28

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 131,827百万円 2022年3月期 128,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	29.00	-	29.00	58.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期 (予想)	-	30.00	-	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,400	7.3	11,400	6.5	14,800	1.1	7,500	△7.3	218.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	35,100,099株	2022年3月期	36,100,099株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	799,386株	2022年3月期	1,610,566株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	34,462,219株	2022年3月期1Q	34,484,177株

（注）期末自己株式数については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2023年3月期1Q 250,000株、2022年3月期 255,200株）を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2023年3月期1Q 253,086株、2022年3月期1Q 78,086株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間を取り巻く経営環境は、国内は、個人消費は復調傾向を見せているものの、ウクライナ情勢の長期化や円安進行を受けての物価上昇の影響が強まり、景気の先行き不透明感が強まる展開となりました。

海外は、米国では利上げが続くなか第1四半期GDPが前期比マイナスとなり、中国では上海ロックダウンによる経済活動の停滞が激しく、また欧州ではインフレ進行や供給制約が景気の勢いを抑えるなど、総じて厳しい展開となりました。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましては、半導体の供給不足や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による自動車メーカーの減産や原材料・エネルギー価格の高騰などにより、グローバルで厳しい状況となりました。

こうした経営環境のもと、当第1四半期連結会計期間の当社グループ業績は、原価低減をはじめとした経営努力を継続遂行したものの、国内の売上高が伸び悩み、また原材料・エネルギー価格の高騰などのコスト増が影響して、前年同期比で減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	394億23百万円	(前年同期比 2.2%減)
営業利益	8億74百万円	(前年同期比 75.3%減)
経常利益	20億7百万円	(前年同期比 53.8%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	5億92百万円	(前年同期比 71.2%減)

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

< T P Rグループ (除くファルテックグループ) >

①日本

日本は、売上高は110億74百万円で、前年同期に比べて3億92百万円の減収となりました。セグメント利益は76百万円で、前年同期に比べて5億59百万円の減益となりました。

②アジア

アジア地域は、売上高は93億29百万円で、前年同期に比べて6億51百万円の増収となりました。セグメント利益は13億67百万円で、前年同期に比べて5億72百万円の減益となりました。

③北米

北米地域は、売上高は29億98百万円で、前年同期に比べて1億16百万円の増収となりました。セグメント損失は81百万円で、前年同期に比べて2億82百万円の減益となりました。

④その他地域

その他地域は、売上高は5億29百万円で、前年同期に比べて13百万円の増収となりました。セグメント利益は88百万円で、前年同期に比べて14百万円の減益となりました。

< ファルテックグループ >

売上高は154億91百万円で、半導体供給不足の長期化によるお客様の生産調整等の影響を受け、前年同期に比べて12億58百万円の減収となりました。セグメント損失は6億44百万円で、お客様の急激な生産調整等に伴うロス、原材料市況やエネルギー費高騰等の影響により、前年同期に比べて12億39百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 総資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して58億32百万円増加し、2,612億35百万円となりました。これは主に現金及び預金が44億76百万円、商品及び製品が16億69百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

② 負債

負債は、前連結会計年度末と比較して20億78百万円増加し、977億29百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が6億5百万円減少したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末と比較して37億54百万円増加し、1,635億6百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が43億7百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が6億12百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,792	45,269
受取手形及び売掛金	45,417	43,114
商品及び製品	13,623	15,292
仕掛品	5,848	6,413
原材料及び貯蔵品	9,757	10,460
その他	8,654	7,335
貸倒引当金	△82	△76
流動資産合計	124,012	127,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,038	24,534
機械装置及び運搬具(純額)	27,138	27,593
その他(純額)	20,538	20,794
有形固定資産合計	71,715	72,922
無形固定資産		
のれん	133	88
その他	2,204	2,240
無形固定資産合計	2,337	2,329
投資その他の資産		
投資有価証券	31,325	30,312
退職給付に係る資産	9,277	9,221
その他	16,889	18,814
貸倒引当金	△154	△174
投資その他の資産合計	57,337	58,173
固定資産合計	131,390	133,425
資産合計	255,403	261,235

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,561	16,955
電子記録債務	8,218	8,217
短期借入金	23,804	26,799
未払法人税等	1,901	777
賞与引当金	2,176	2,420
その他	12,413	14,040
流動負債合計	66,077	69,211
固定負債		
長期借入金	12,292	11,004
退職給付に係る負債	4,685	4,599
引当金	1,012	991
資産除去債務	177	177
その他	11,405	11,746
固定負債合計	29,573	28,518
負債合計	95,651	97,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	4,246	3,965
利益剰余金	103,452	101,749
自己株式	△2,695	△1,355
株主資本合計	109,761	109,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,862	11,250
為替換算調整勘定	4,262	8,570
退職給付に係る調整累計額	2,907	2,889
その他の包括利益累計額合計	19,032	22,709
新株予約権	147	147
非支配株主持分	30,810	31,531
純資産合計	159,752	163,506
負債純資産合計	255,403	261,235

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	40,292	39,423
売上原価	30,540	31,792
売上総利益	9,752	7,630
販売費及び一般管理費	6,212	6,756
営業利益	3,539	874
営業外収益		
受取利息	39	101
受取配当金	123	132
持分法による投資利益	591	552
為替差益	—	206
その他	152	268
営業外収益合計	906	1,261
営業外費用		
支払利息	59	60
為替差損	18	—
その他	25	68
営業外費用合計	103	128
経常利益	4,342	2,007
特別利益		
固定資産売却益	12	4
特別利益合計	12	4
特別損失		
投資有価証券評価損	200	494
その他	30	21
特別損失合計	230	516
税金等調整前四半期純利益	4,124	1,495
法人税等	1,110	620
四半期純利益	3,013	874
非支配株主に帰属する四半期純利益	955	282
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,057	592

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,013	874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	△606
為替換算調整勘定	3,961	4,965
退職給付に係る調整額	△52	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	876	1,068
その他の包括利益合計	4,718	5,410
四半期包括利益	7,731	6,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,287	4,269
非支配株主に係る四半期包括利益	2,444	2,016

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、6月30日までに自己株式194,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が239百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、5月31日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金280百万円、利益剰余金1,287百万円及び自己株式1,568百万円がそれぞれ減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P Rグループ(除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,467	8,678	2,881	515	23,542	16,750	40,292
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,071	948	5	14	3,039	3	3,042
計	13,538	9,627	2,886	529	26,581	16,753	43,335
セグメント利益	635	1,940	201	103	2,880	595	3,475

(注)「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,475
セグメント間取引消去	32
未実現利益の調整額	31
四半期連結損益計算書の営業利益	3,539

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P Rグループ(除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,074	9,329	2,998	529	23,931	15,491	39,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,108	1,200	6	20	3,335	70	3,405
計	13,183	10,530	3,004	549	27,267	15,562	42,829
セグメント利益又は損失 (△)	76	1,367	△81	88	1,451	△644	807

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	807
セグメント間取引消去	37
未実現利益の調整額	30
四半期連結損益計算書の営業利益	874

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

1. 連結業績

(単位：億円)

	2021年1Q	2022年1Q	増減額	増減率
売上高	402	394	△ 8	△2%
営業利益	35	8	△ 26	△75%
経常利益	43	20	△ 23	△54%
親会社純利益	20	5	△ 14	△71%

為替レート (USD円)	106.24	117.12
為替レート (人民元円)	16.32	18.44

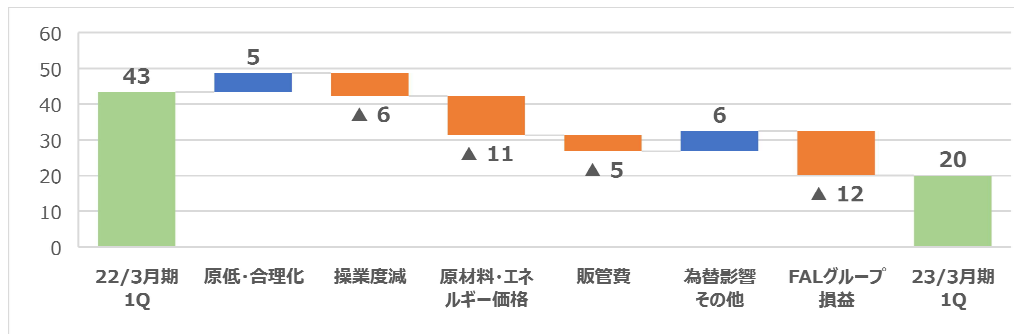
2. セグメント状況

(単位：百万円)

	2021年1Q	2022年1Q	増減額	増減率
日本	11,467	11,074	△ 392	△3%
アジア	8,678	9,329	651	8%
北米	2,881	2,998	116	4%
その他	515	529	13	3%
TPRグループ計	23,542	23,931	389	2%
ファルテックグループ	16,750	15,491	△ 1,258	△8%
連結	40,292	39,423	△ 869	△2%

日本	635	76	△ 559	△88%
アジア	1,940	1,367	△ 572	△30%
北米	201	△ 81	△ 282	△141%
その他	103	88	△ 14	△14%
TPRグループ計	2,880	1,451	△ 1,429	△50%
ファルテックグループ	595	△ 644	△ 1,239	△208%
消去等	63	67	4	—
連結	3,539	874	△ 2,665	△75%

3. 経常利益増減要因 (2022年3月期1Q → 2023年3月期1Q：億円)

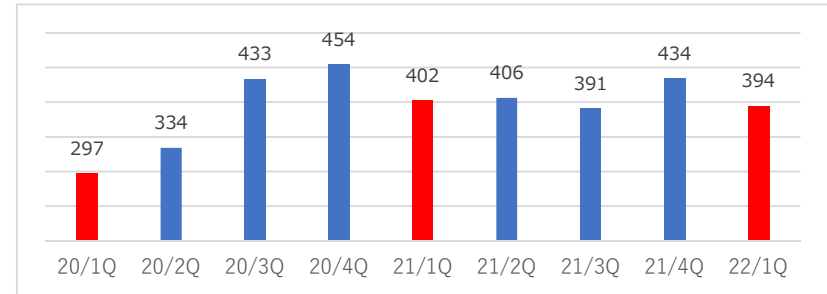


4. 連結業績：四半期実績推移

<売上高>

(単位：億円)

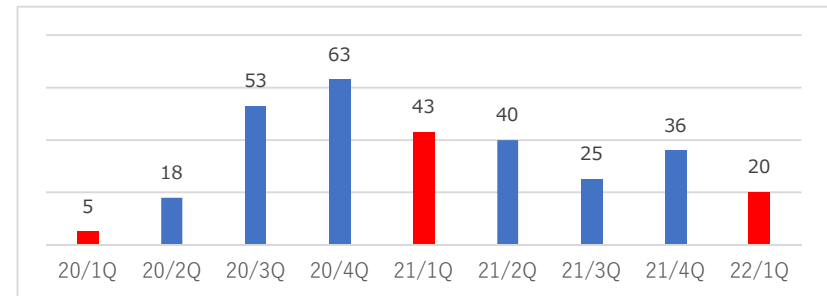
2020				2021				2022
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
297	334	433	454	402	406	391	434	394



<経常利益>

(単位：億円)

2020				2021				2022
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
5	18	53	63	43	40	25	36	20



5. 2023年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 通期予想	前年比
売上高	1,635	1,754	107%
営業利益	107	114	107%
経常利益	146	148	101%
親会社純利益	80	75	94%

	2022年3月期	2023年3月期
1株当たり配当金	年間58円	年間60円
(中間配当)	(29円)	(30円)